

L R解析アルゴリズム

入力： 記号列 ω

出力： もし $\omega \in L(G)$ ならば、 ω の**最右導出**を出力
さもなければ、**エラー**を出力

初期状態： 入力記号列には $\omega\$$ をおく
 スタックには初期状態を表す記号 0 をおく。

アルゴリズム：

```
for (;;) {
    tをスタックのトップの状態とし、aを入力記号列のトップの記号とする；
    if ( action[t, a] == s_x ) {
        動作欄に  $s_x$  と記述する；
        x をスタックへプッシュ（追加）する；
        a を入力記号列からポップ（除去）する；
    } else if ( action[t, a] == r_{A \rightarrow u} ) {
        動作欄に  $r_{A \rightarrow u}$  を記述する；
        |u| 個の状態をスタックからポップする（|u|はuの長さ）；
        t を新たなスタックのトップの状態とする；
        goto[t, A] をスタックへプッシュする；
        入力記号列はそのままとする；
    } else if ( action[t, a] == acc ) {
        動作欄に acc と記述する；
        break ;
    } else {
        動作欄に エラー と記述する；
        break ;
    }
}
```